

チャペル週報

No.21

2024.11.4～11.8

神は、人々が悪の道を離れたことを御覧になり、
彼らに下すと告げていた災いを思い直され、
そうされなかった。

ヨナ書 3章10節



吉岡記念館（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

11月4日(月)	神 人 建 短大	音楽チャペル 関西学院聖歌隊 森藤 ちひろ(人間福祉学部教授) 国際プログラム参加学生 坂口クラス ダッドレーチャペル
11月5日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	飯塚 共生(日本キリスト教団 馬見労務教会) Andreas Rusterholz(宗教主事) 「違い」に向き合う① 打樋 啓史(宗教主事) 大宮 有博(宗教主事) 人間を考える⑨ 山田 仁(経済学部准教授) Chapel in English Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) 三宅 康之(国際学部教授) アジア学院西日本キャラバン アジア学院西日本キャラバン ティ・ティ・ウイン 梶原 直美(宗教主事)
11月6日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	森田 雅也(文学部教授) 「違い」に向き合う② 中谷 文美(社会学部教授) Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 木原 桂二(宗教主事) 橋本 祐樹(神学部准教授) ヒューマン・サービス支援室 Christian Triebel(宣教師、学長直属助教) アジア学院西日本キャラバン
11月7日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	「共に生きる」⑨ 水野 隆一(神学部教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) 「違い」に向き合う③ Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) アジア学院西日本キャラバン ジョナサン・マッカーリー 「聖徒の日(11/3)」を覚えて 舟木 譲(宗教主事) Christian Triebel(宣教師、学長直属助教) アジア学院西日本キャラバン Chapel in English アジア学院西日本キャラバン ティ・ティ・ウイン 細見 和志(総合政策学部教授) 小栗 献(神戸聖愛教会牧師)、高田 正久(短期大学非常勤講師)
11月8日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	お薦めの作品① 嶺重 淑(大学宗教主事) Chapel in English Raoul Pagnamenta(Eglise Réformée Evangélique de Neuchâtel 牧師) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 人間を考える⑩ 吉田 雄一郎(経済学部教授) アジア学院西日本キャラバン

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

11月8日(金) 研究推進社会連携機構のために 土井 健司(研究推進社会連携機構長)

Zoom での参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



関西学院の 27 万の賜物

篠坂 直隆

27 万。この数字を聞いて、何を示す数字かすぐにわかる教職員がどれだけいるだろうか。答えは、関西学院の 135 年の歩みの中で卒業し羽ばたいた同窓生の人数である。同窓生が全世界のどこにいても“KG”の一言でつながるネットワークを形成し「同窓会活動」を展開してくれている。

校友課業務を通じて出会い、または再会した同窓生の名刺の枚数が既に 2,000 枚を超えた。企業の役員、起業したもの、家業を継いだもの、同窓同士の夫婦で子育てに忙しいもの、既にリタイアして同窓会活動に精力を捧げるもの、と言いつつ出せばきりが無いが、皆本当に母校のことが好きな方ばかりである。母校への愛情表現は様々なので、時には耳が痛くなるようなお叱りを頂戴することもあるが、そんな同窓生も母校が大好きであり、母校愛を込めたエールの叱責なのだ。

ほぼすべての同窓生が口を揃えるのは「Mastery for Service」というスクールモットーと、「このキャンパスで人間が形成された」といった内容である。そして 27 万人の同窓生一人ひとりが「Mastery for Service」の理念を社会で実践し活躍してきたことで、現在の「関西学院」という社会でのブランドが築き上げられたと言えるだろう。

また同窓会においても、「“研鑽＝Service をするために Master し続けること”で、同窓生として母校の発展に貢献しなければならない」と声高らかに、各地でその機運を盛り上げてくれている。そして多様な分野、様々な土地で、母校の為にいつでも力になりたいと心待ちにしてくれている同窓生が、国内だけではなく海外も含めて大勢いる。例えば、海外でのゼミ活動を受入れてくれたり、教職員の海外出張時の熱烈的な歓迎とともに現地訪問先の調整なども協力してくれている。国内では 2023 年から新卒採用職員の出向受入れをしてしてくれているのも「母校愛の塊」と言えるほどの同窓生だ。もし各学部や各部署で困りがあれば、一度同窓生に頼ってみてはいかがだろうか。教職員、学生問わず必ず手を差し伸べてくれるだろうし、母校から頼られることで、母校への支援の意欲は向上する。さらにはそうした活動を通じて同窓生同士、また同窓生と母校の強固な絆が作られ、その絆が関西学院のこの先の歩みを支えてくれることと信じている。

そんな関西学院の“賜物”である同窓生の照会依頼を、校友課はお待ちしております。

(校友課職員)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院の基盤となるキリスト教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。キリスト教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。（月2回程度更新されます）



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405 教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

11月14日(木)17:50～18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月10日(日)10:00～11:00 永眠者記念礼拝

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日時：2024年12月19日(木)17:30 開場 18:30 開始 21:00 終了予定

場所：ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南 2-3-3)

内容：第1部…音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ
第2部…学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参加費：2,500 円 全席指定席

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。

主催：関西学院

共催：関西学院後援会・関西学院同窓会

お問合せ：関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

チケット販売：9月20日(金)販売開始

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 各キャンパスで販売)

*チケットぴあ Pコード 278-686 <https://w.pia.jp/t/kwansei-christmas/>

*ぴあ取り扱いのコンビニエンスストア：セブン・イレブン

*ザ・シンフォニー チケットセンター(tel.06-6453-2333・火曜定休、ザ・シンフォニーホール内)

<https://www.symphonihall.jp/>



チケットぴあ



ザ・シンフォニーホール

◆CDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽等のCDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

<郵送先>

〒662-8501 西宮市上ケ原一番町 1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛